

## 令和3年度 研究概要

<b>所属名</b> 情報・視聴覚センター	<b>研究会議名</b> 情報活用能力育成研究会議
<b>研究主題</b>	情報活用チェックリストを用いた学校全体での情報活用能力の育成の取組 ～GIGA スクール構想の実現に向けた抽出校の事例研究～
<b>資質・能力 育成を目指す</b>	児童生徒の情報活用能力を意図的、計画的に育成する力
<b>研究内容</b>	<p>平成 29・30 年改訂学習指導要領では、情報活用能力を学習の基盤となる資質・能力と位置付け、教科等横断的に適切な学習場面で育成を図ることが示されている。また、令和元年 12 月に文部科学省より打ち出された GIGA スクール構想では、「1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークの整備」が掲げられた。令和 3 年 1 月の中央教育審議会による答申「令和の日本型学校教育の構築を目指して」では、「新学習指導要領を着実に実施するに当たっては、GIGA スクール構想により整備される ICT 環境を最大限活用し、『個別最適な学び』と『協働的な学び』を充実していくことが重要である。」と述べられており、そのために「GIGA スクール構想を強力に推進する」とされている。川崎市でも、「かわさき教育プラン」の実現に向けて「かわさき GIGA スクール構想」を推進しており、1 人 1 台端末を活用して学びの質を段階的に高めながら、情報活用能力を育成することが示されている。</p> <p>これまで川崎市総合教育センターでは、「情報活用能力の育成におけるチェックリストの活用に関する研究」(2017)において情報活用能力を資質・能力別に整理し、発達段階に応じて指導できるようにしてきた。また、教員がチェックリストを用いて実態を把握し計画的に授業づくりをすることが、児童生徒の情報活用能力の育成につながることを明らかにしてきた。「情報活用能力育成のためのモデルカリキュラム作成に係る研究」(2018)では、校内でモデルカリキュラムを作成することで教師の意識に変容が見られ、教科等横断的に情報活用能力の指導が行われることが明らかになった。「かわさき GIGA スクール構想」においても、チェックリストを活用した校内での GIGA スクール構想推進計画の作成イメージが示されており、情報活用能力の育成に学校全体で取り組むことの重要性が強調されている。</p> <p>そこで本研究会議では、児童生徒の情報活用能力の育成に向けた学校全体での取組について研究を進めていく。抽出校において情報活用チェックリストを用いた児童生徒の実態把握を行い、結果の分析方法や具体的な学習活動の計画へとつながる活用法について詳細に検討する。各校の実践を通して教師の意識や指導と児童生徒の情報活用能力の発揮にどのような変容が見られるかを明らかにし、本研究の成果や課題としてまとめていく。川崎の市立小中学校における GIGA スクール構想の実現に向けて、モデルとなる学校全体での情報活用能力の育成の在り方について提案していきたい。</p>